

岩手県環境保健研究センター Iwate Prefectural Research Institute for Environmental Sciences and Public Health (I-RIEP)

kanpokenbunroku

環保研聞録 ~I-RIEP Journal~ 第7号



2016年7月

「岩手県環境保健研究センター」では、県民のみなさんの健康といわての環境を守るため、健康・環境に関する科学的・技術的拠点として、次のような業務に取り組んでいます。

- ① 県民のみなさんの健康や環境に被害のおそれがある場合の対応
- ② 健康と環境を守るための試験検査・監視測定
- ③ 行政の課題に対応した調査研究
- ④ 技術支援・情報発信・研修指導

広報誌「環保研聞録 ~I-RIEP Journal~」では「環保研(かんぼけん)センター」の取組や健康・環境に関する情報を定期的にお届けしています。

絶滅危惧植物 コマクサの大量増殖技術の開発に成功！（地球科学部）

1 研究内容

当所地球科学部の小山田智彰上席専門研究員ほか3名は、絶滅危惧植物 コマクサを大量増殖させるための新技術の開発に成功しました。

過去に発表された技術は、増殖が不安定で、根の発生に失敗するなどの理由で実用的な大量増殖法はありませんでした。そのため、岩手山の土壌を分析した結果を参考にした独自の「コマクサ専用培地」の開発と当該培地に加える物質の検討を行った結果、増殖させた苗を確実に発根させることに成功しました。

2 研究の意義

今回の研究によってコマクサの生産や保存を確実に行うことができるようになり、さらには野生植物資源利用の研究分野においてもコマクサを材料にした新たな有用物質の発見を支える極めて有用な技術になります。

3 研究内容の詳細

「薬用植物研究」38巻1号（2016年1号）に原著論文として掲載されました。

なお、論文の詳細は「[環境保健研究トピック \(H28-03\)](#)」及び当所[ホームページ](#)で紹介しています。

～*～*～*～*～*～*～*～*～*～

（参考）コマクサ

本州中部以北の高山砂礫地に自生する多年生植物で、本県を含む7道県のレットデータブックで絶滅危惧植物に搭載されている。本県では岩手山と秋田駒ヶ岳のみに自生する。



コマクサの自生写真
(2014.7.7 焼走り登山道8合目で撮影)

「水生生物を指標とした岩手県の河川水質マップ」の取組みについて（環境科学部）

「水生生物を指標とした岩手県の河川水質マップ」は、岩手県が水生生物調査を開始した昭和59年の翌年(昭和60(1985)年)から毎年作成しております。

下の図は平成27年のマップです。157団体4,364人が107河川の175地点を調査し、報告いただいたものを、環境保健研究センターが地図上にまとめたものです。これを、県環境保全課が印刷し、参加者全員に感謝の気持ちを込めて配布しております。

ご覧のとおり、このマップは、調査に参加した皆さんが調査結果（データ）を持ち寄ることによって作り上げることができるもので、調査した年の県内の河川環境の状況・様子をうかがい知ることができる、優れた環境調査報告書（レポート）です。

また、調査に参加した子供たちにとって、10年前・20年前の先輩たちが残した調査記録との比較や、そしてこれから後輩たちへ残す調査記録は、地域の環境学習や環境保全に役立つものです。



「水生生物を指標とした岩手県の河川水質マップ」は、ホームページでもご覧いただくことができます。
<http://www.pref.iwate.jp/kankyo/hozen/suishitsu/003144.html>
 又は



平成 28 年度 水生生物調査参加者募集のお知らせ

川に棲む肉眼で見ることのできる大きさのさまざまな生物（指標生物）の生息状況を調べ、その結果から河川の水質状況を知ろうとするこの調査の参加者を募集しています。

詳しくは、市町村の環境保全担当課、県広域振興局保健福祉環境部又は県庁環境保全課（電話 019-629-5359）までお問い合わせいただくか、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/kankyoku/hozen/suishitsu/003143.html>

春の野生山菜の放射性物質濃度検査を行いました（衛生科学部）

衛生科学部では、平成25年度から継続して、春先に採れる野生山菜、秋の野生きのこに関して、流通品となるものについての放射性物質濃度検査を行っています。今年度は、57件の野生山菜の放射性物質濃度検査を行いました。その結果、当センターで測定を行ったものについては、放射性セシウムを検出した件数は8件（14%）ありましたが、そのうち基準値（100Bq/kg）を超過したものはありませんでした。

放射性セシウムについては、未だに出荷自粛等が行われている地域もあるので、食の安全安



（左）検体（山菜）を細切りにし均一化、
（右）容器に充填し、ゲルマニウム半導体検出器へ

心確保するために、県と市町村は連携して流通品に関する放射性物質濃度検査を継続的に行っていきます。

自分で山菜を採取する場合は、周辺地域の出荷自粛の情報等を確認しましょう。

Check!

岩手県公式 HP「野生山菜を採られる際に注意していただきたいこと」

<http://www.pref.iwate.jp/houshasen/017714.html>

その他の検査について

衛生科学部では、放射性物質濃度検査の他にも、食品衛生法に基づく食品収去検査（流通食品を対象とする抜き取り検査）を行っています。今年度は、岩手県内外で生産される農水産物や加工食品を中心に、年間 410 食品についての検査を行う計画となっており、順次実施しています。

保健所、県食肉衛生検査所とともに実施する収去によるモニタリング検査は、幅広い流通食品の安全と安心の確保に向けた重要な業務です。

表. 今年度実施している食品検査の検体数と内訳

	実施区分	検査項目	対象品目	検体数 (計画)
(1)	食品への残留が規制されている成分の検査	農薬	農産物, 畜肉等	120
		動物用医薬品	畜肉, 魚, 卵	21
		放射性物質	農産物, 魚, 飲料, 水等	200
(2)	加工食品の表示基準を満たすことが求められている原材料や成分の検査	食品添加物 (保存料, 甘味料, 着色料, 酸化防止剤)	加工食品	43
		アレルギー物質 (小麦, そば)	加工食品	20
		遺伝子組換え食品	加工食品	6

「環境保健研究トピック」を発行しています

環境保健研究センターでは、研究成果や取組等を詳しくタイムリーにお知らせするため「環境保健研究トピック」を発行しております。本年 4 月以降に発行した内容は次のとおりです。

【H28-01】翼開長（よくかいちょう）約 2m の原寸大「イヌワシポスター」も登場！

環境学習交流センターで研究の取組を紹介

【H28-02】環境学習交流センターでの研究紹介・第 2 弾

ヒトスジシマカに関する研究の取組を紹介しています

【H28-03】原著論文が「薬用植物研究」に掲載

絶滅危惧植物 コマクサの大量増殖技術の開発に成功

■ [ホームページ](#)でお読みいただけますので併せてご覧ください。（アドレスは次ページにあります。）

ジカウイルス感染症に注意！（保健科学部）

ジカウイルス感染症（いわゆるジカ熱）は、ジカウイルスに感染して起こる病気です。ジカウイルスは、デング熱と同様にヒトスジシマカなどの蚊を介して感染します。

2015年以降、ブラジルなどの中南米で流行が続いている他、インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナムでの流行が確認されて



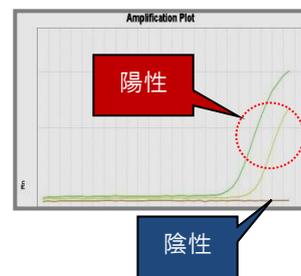
ヒトスジシマカ

います。国内では、これまで10名の方がジカウイルスに感染していますが、いずれも流行地で感染したもので、国内で感染した人はいません。

ジカウイルス感染症の主な症状は、軽度の発熱、発疹、結膜炎、関節痛、頭痛などですが、感染しても症状が現れるのは約2割の方で、多くの人は無症状か、軽い症状ですみます。しかし、妊婦が感染すると生まれてくる子どもが小頭症や先天性障害をもつ場合があることが報告されています。妊婦あるいは妊娠の可能性のある方は、流行地への渡航を可能な限り控えた方が良いでしょう。

流行地に渡航される方は、ジカウイルス感染症に有効なワクチンはありませんので、長袖・長ズボンの着用や蚊の忌避剤を使用するなど、蚊に刺されない対策が大切です。帰国後、発熱などの症状がある場合は、すぐに医療機関を受診して下さい。また症状の有無にかかわらず、帰国後少なくとも2週間程度は蚊に刺されない対策を行って下さい。

ジカウイルス感染症には特徴的な症状がないため、診断は病原体の検出あるいは抗体検査によります。当センターでは、リアルタイム RT-PCR 法によるジカウイルス遺伝子検査を導入し、いつ検査依頼があっても速やかに対応できる体制を整えています。



リアルタイム PCR 装置(左)と測定結果(右)

【編集後記】

7月・・・子どもたちが楽しみにしている夏休みが待っています。

環境保健研究センターでは、毎年大好評の「夏休み子ども講座」を7月29日(金)に開催するほか、(満員につき受付は終了しました。ゴメンナサイ!)初めての取組として、7月18日(月・海の日)に「いわてサイエンスシンポジウム2016」に出展します。

このようなイベントや自由研究などの機会を通じて、子どもたちが科学の楽しさを感じるきっかけになればと願っています。(あ)



予告!

今年の一般公開は
11月23日(水・祝)開催!(予定)

★ 詳しくはホームページなどでお知らせします。

《編集・発行》岩手県環境保健研究センター 企画情報部

盛岡市北飯岡一丁目 11-16



TEL 019-656-5666 FAX 019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

ホームページ <http://www.pref.iwate.jp/kanhoken/>

